八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

# こっこめ通信 04 2006

「陸は春、海は冬？」号

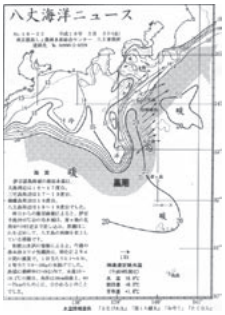
３月 19 日、関東地方で最初に八丈島のソメイヨシノの開花が発表されました。寒暖の差が小さい八丈島のサクラは他の地域より開花が遅いのですが、12 月の寒さで早まったようです。21 日からはフリージアまつりが始まり観光客で賑わっています。また、10 月から３月までの条件付き航空運賃の値下げも「搭乗者 10%アップ」の条件をクリアし、引き続き航空運賃の値下げが続けられることになりました。本当にありがとうございました。

さて、今回は「黒潮の急激な蛇行」「啓蟄過ぎて・動き出した春」についてのお話です。

## 黒潮の急激な蛇行

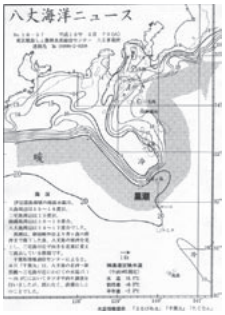
３月２日までは西から東へ順調に流れていた黒潮ですが、翌日には急激に進路を変え、蛇行してしまいました。そのため八丈島の周りは、水位が下がり、一気に冷水域に入ってしまいました。ダイビング関係者によると 12℃の日もあったようです（蛇行が始まる前は 19℃）。この蛇行は短期で収まり、13 日頃から元の流路に戻り始めました。しかし一気に水温が低下したことや水位が下がったことにより海の生きものへの影響は大きく、潮だまりにいたサラサエビの仲間やビワガタナメクジなどのアメフラシなどは全滅の恐れさえありました。

３月２日



３月３日

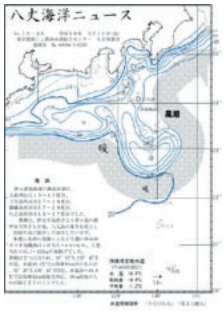
３月６日



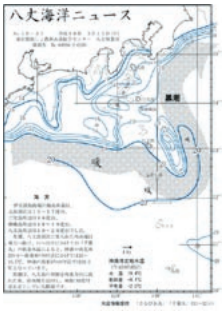
３月７日

３月８日

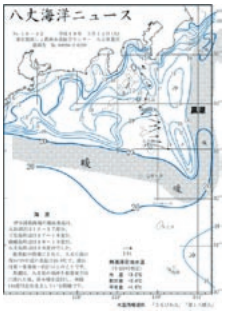
３月９日



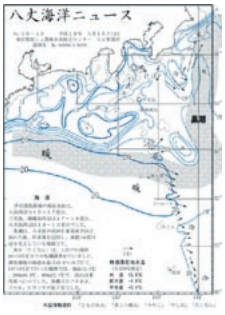
３月 10 日



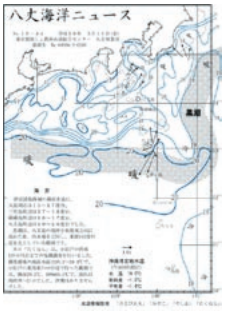
３月 13 日



３月 14 日



３月 15 日



３月 16 日

東京都島しょ農林水産総合センター八丈事業所の作成している「八丈海洋ニュース」。黒潮の流路や周辺の海況が細かく説明されています。
最新版はホームページで見ることができます。
http://www.ifarc.metro.tokyo.jp/

黒潮が離れると一気に水位が下がり、海岸線が白くなってしまいます。また、海水の入れ替えがなくなってしまうことで、酸素が少なくなり、海から離れた潮だまりほど生き物が死んでしまいます。（左写真）今回はあまりにも急激な水温低下のため、ダイビング中にも魚の死骸がたくさん見られました。（右写真・ｱﾙｹﾛﾝﾀﾞｲﾋﾞﾝｸﾞ / 仲谷さん提供）

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

# 啓蟄過ぎて・動き出した春

啓蟄とは、土中にこもっていた虫たちが春の陽気を感じ取って姿を現す頃とされています。天文学的には、天球上の黄経 345 度の点を太陽が通過する瞬間で、毎年 3 月 6 日頃になります。

八丈島でも啓蟄の日前後から虫たちの活動が活発になり始めました。植物公園の中を散歩しても小さな虫たちが観察できるようになってきました。幼虫で越冬したものや成虫で越冬したもの、春になって卵から孵ったものなどさまざまです。そこで最近見つけた虫たちを撮影してきました。この他にも撮影は出来ませんでしたが、モンシロチョウが 3 月 6 日、アゲハチョウが 3 月 24 日に確認されています。

キクイゾウムシの仲間？

クビキリギリス

ヒメアカタテハ（幼虫）

ヤスマツナガカメムシ

ヒメツチハンミョウ（♂）

ベニフキメイガ（幼虫）

サメハダツブノミハムシ

ヤマトシジミ

ウコンエダシャク（♀）

ハチジョウチビコブカミキリ

ヒシバッタ

アシダカグモ

ナミテントウ

クワゴマダラヒトリ（幼虫）

キドクガ（幼虫）

イチモンジカメノコハムシ

コマダラナガカメムシ

オジロアシナガゾウムシ

ヒメバチ科の一種

半翅目の一種（幼虫）

今年は花の咲き始めからも春の早さが感じられます。花同様、虫の世界でも春が早かったようです。

そして日を追うごとに観察できる虫の種類も増えています。今年はどんな虫との出会い、発見があるかとても楽しみです。虫が得意ではない方もじっくりと観察するとおもしろい発見がありますよ。

# 八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。前回は 3 月 12 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 18 年第 2 回）
平成 18 年 3 月 12 日（日） 13 時 30 分～ 15 時　参加者・菊池昭 , 杉浦 , 新堀 , 沖山 , 森 ,V.C. 菊池 5 名

| NO. | 和名 （島名） | 状　態 | NO. | 和名 （島名） | 状　態 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 草本 | | | 木本 | |
| 1 | オランダミミナグサ | 花 | 1 | カジイチゴ | 花 |
| 2 | トキワハゼ | 花 | 2 | ハチジョウクサイチゴ | 花 |
| 3 | スズメノカタビラ | 花 | 3 | ビロードカジイチゴ | 花 |
| 4 | ハキダメギク | 花 | 4 | ヒサカキ | 花 |
| 5 | ウラシマソウ | 花 | 5 | オオシマザクラ | 花 |
| 6 | オオシマカンスゲ | 実 | 6 | ヤブツバキ | 花 |
| 7 | カタバミ | 花 | 7 | ヤツデ | 実 |
| 8 | ノミノフスマ | 花 | 8 | ヤマモモ | 花 |
| 9 | イワニガナ | 花 | 9 | モチノキ | 花と残った実 |
| 10 | コハコベ | 花 | 10 | タイミンタチバナ | 花と残った実 |
| 11 | シチトウスミレ | 花 | 11 | ホルトノキ | 残った実 |
| 12 | ハナイバナ | 花 | | シダ植物 | |
| 13 | オニタビラコ | 花 | 1 | ホシダ | |
| 14 | ツワブキ | 実が残る | 2 | ナチシダ | |
| 15 | ベニバナボロギク | 花 | 3 | オニヤブソテツ | |
| 16 | ミミナグサ | 花 | 4 | タマシダ | |
| 17 | タネツケバナ | 花 | 5 | オオタニワタリ | |
| 18 | シマテンナンショウ | 咲き終わり | 6 | タチクラマゴケ | |
| 19 | キランソウ | 花 | 7 | ホラシノブ | |
| 20 | ハハコグサ | 花 | 8 | ハチジョウシダ | |
| 21 | ウスベニニガナ | 花 | 9 | ヤマイタチシダ | |
| 22 | コセンダングサ | 花と実 | 10 | ナンカイイタチシダ | |
| 23 | ハルジオン | 蕾 | 11 | ハチジョウカナワラビ | |
| 24 | アツバスミレ | 花 | 12 | タチシノブ | |
| 25 | アオノクマタケラン | 実が残る | 13 | ワラビ | 出始め |
| 26 | カラスノエンドウ | 花 | 14 | スギナ | ツクシは終わり |
| 27 | ツメクサ | 花 | 15 | ヒトツバ | |
| 28 | スズメノエンドウ | 花 | 16 | ノキシノブ | |
| 29 | カスマグサ | 花 | 17 | マツバラン | 胞子が飛ぶ |
| 30 | オオアレチノギク | 花 | 18 | ハカタシダ | |
| 31 | イヌホオズキ | 花と実 | 今回は 62 種の植物を観察しました。 | | |
| 32 | シロノセンダングサ | 花と実 | | | |
| 33 | スズメノヤリ | 花と実 | | | |

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ニッポンヒラタキノコバエ」にスポットを当ててみたいと思います。

## ニッポンヒラタキノコバエ

***Keroplatus nipponicus***

キノコバエ科。成虫時の体長 10mm、幼虫時の体長は約 20mm。

幼虫時は、多孔菌の表面に粘液の膜で巣を作ります。この幼虫は体全体が光り、特に頭部と尾部は強い光りを発します。

以前ニッポンヒラタキノコバエとされていた幼虫は別の種類のキノコバエである可能性が高くなっています。

# 2006 4 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 特別行事 30<br>「バードウォッチング入門」<br>「体験八丈太鼓」<br>05：34 00：06<br>19：43 12：30 | | | この色の日は<br>特別行事があります | | | 1<br>ガイドウォーク<br>06：16 00：30<br>19：43 12：53 |
| 2<br>ガイドウォーク<br>06：37 00：56<br>20：33 13：31 | 3<br>06：57 01：19<br>21：32 14：12 | 4<br>07：16 01：37<br>23：09 15：00 | 清明 5<br>07：29 01：39<br>16：04 | 6<br>07：09<br>17：38 | 7<br>03：35<br>19：19 | 8<br>ガイドウォーク<br>03：35 09：37<br>13：42 20：26 |
| 9<br>ガイドウォーク<br>植物公園<br>季節調査会<br>03：46 09：44<br>14：49 21：11 | 10<br>04：00 10：00<br>15：35 21：47 | 11<br>04：16 10：19<br>16：15 22：18 | 12<br>04：32 10：41<br>16：52 22：48 | 13<br>04：51 11：05<br>17：28 23：17 | 14<br>05：10 11：30<br>18：04 23：45 | 15<br>ガイドウォーク<br>05：30 11：58<br>18：41 |
| 16<br>ガイドウォーク<br>05：50 00：13<br>19：19 12：28 | 17<br>06：11 00：40<br>20：02 13：01 | 18<br>06：34 01：07<br>20：54 13：39 | 19<br>06：58 01：37<br>22：08 14：25 | 穀雨 20<br>02：16<br>07：26 15：28 | 21<br>00：04 03：44<br>08：06 16：56 | 22<br>ガイドウォーク<br>八丈学講座<br>「さえずりを<br>聞き分けよう」<br>01：41 07：05<br>10：21 18：36 |
| 23<br>ガイドウォーク<br>02：26 08：17<br>13：05 19：55 | 24<br>02：57 08：55<br>14：33 20：53 | 25<br>03：25 09：31<br>15：36 21：41 | 26<br>03：51 10：05<br>16：31 22：22 | 27<br>04：16 10：41<br>17：21 22：59 | 28<br>04：42 11：16<br>18：10 23：34 | 特別行事 29<br>「八丈富士ハイキング」<br>「バードウォッチング入門」<br>「体験八丈太鼓」<br>05：07 11：53<br>18：56 |

## イベントプログラム

| | |
|---|---|
| 植物公園季節調査会 | 植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！<br>4／9 （13：30～ 約1時間半）<br>中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名 |
| 八丈学講座<br>「さえずりを聞き分けよう」 | 毎月行っている八丈学講座。今月は、ホタル水路で鳥のさえずりを聞き分けましょう。<br>4／22 （13：30～ 約1時間半）<br>中学生以上 鴨川ホタル水路 集合・解散 参加費：100円 定員：15名 |
| GW特別行事<br>「八丈富士ハイキング」 | 恒例 春の八丈富士ハイキング！今年は出発を少し遅らせ、当日到着でも参加できます。<br>4／29 （10：00～ 約5時間） 八丈富士鉢巻き道路登山口集合・解散 小雨決行<br>小学生以上（低学年は保護者同伴） 参加費：100円 定員：20名 |
| GW特別行事<br>「バードウォッチング入門」 | 植物公園の中でバードウォッチングの入門編です。アカコッコは見られるかな？<br>4／29～5／5 （10：30～ 約1時間半）<br>だれでも ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名 雨天中止 |
| GW特別行事<br>「体験八丈太鼓」 | 島の太鼓を体験してみませんか？日頃のストレスを発散しよう！<br>4／29～5／5 （13：30～ 随時）<br>だれでも ビジターセンター入口にて 無料 雨天中止 |

## ビデオプログラム

| |
|---|
| 10：00～ 八丈・海・生きものたち |
| 11：00～ おじゃりやれ 八丈島 |
| 14：00～ おじゃりやれ 八丈島 |
| 15：00～ おじゃりやれ 八丈島 |
| 16：00～ 八丈・海・生きものたち |
| 上記以外での上映は予約にて可能です |


**東京都八丈ビジターセンター** 2006.4.1 第59号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷２８４３
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888


（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

## 編集後記

花の季節と共に虫の季節がやってきました。昨年撮影できなかった生き物の撮影でこれからは忙しくなりそうです。
私は花や虫の撮影を通じて四季を感じています。「あ～またこの季節が来たんだ」って感じです。そして「また年取った」と。（高）